

平成 28 年度 事業報告書

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人ま・わ・た

1 事業の成果

昨年度同様、指定管理者制度に基づく「真岡市市民活動推進センターの管理運営」を団体運営の中核に据え、「民間支援組織として、営利を目的としない社会に貢献する活動を行っている個人や団体に対して、その活動や支援を行い、市民の自主的な活動による豊かな市民社会の発展に寄与することを目的とする」という設立目的のもと、事業を展開した。

本年度はそれに加え、「栃木県 NPO マネジメント強化事業」の委託を受け、財政管理、組織計画、そして資金の集め方についての講座を開催した。また昨年引き続き地域の各種団体とのネットワークづくりや真岡市社会福祉協議会との連携や真岡工業高校ボランティア部との協力体制づくりを進めることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
① 市民活動に関する情報の収集と提供に関わる事業	A.各種イベントにおける広報	6/7 10/18	真岡市内	会員 5名	イベント来場者	0
	(D.に内包)	-	-	-	-	-
② 市民活動に関する相談、活動促進のための調整に関わる事業	H.栃木県 NPO マネジメント強化事業	9/17 11/3 1/21	真岡市内	役職員 3名	市民活動団体ほか	123
	(D.に内包)	-	-	-	-	-
③ 市民活動における人材育成に関わる事業	B.講師派遣事業	なし	芳賀郡内	役職員 0名	一般市民ほか	0
	C.市民活動団体との共催事業	8/17~21	芳賀郡内	役職員 5名	一般市民ほか	0
	(D.に内包)	-	-	-	-	-
④ 市民活動における多様な主体間の交流・連携の促進及び支援に関わる事業	(D.に内包)	-	-	-	-	-
⑤ 市民活動に関する調査研究及び政策提言に関わる事業	(D.に内包)	-	-	-	-	-

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
⑥市民活動の拠点に関する施設管理運営事業	D.真岡市市民活動推進センターの管理運営	通年	市民活動推進センター	役職員 7名	真岡市民、登録団体・個人 ほか	12,885
⑦高齢者・障がい児者・子どもの福祉向上に関する事業	E.フードバンクに関する調査・研究	11/29	二宮コミュニティセンター	役職員 5名	市民活動団体 ほか	10
⑧まち・むら活性化に関する事業	実施なし					
⑨文化・芸術・スポーツの振興に関する事業	実施なし					
⑩自然環境への理解及び環境保護の意識を高める事業	G.環境保護への意識づけと貢献活動	7/26 8/30	真岡市内	役職員 7名	真岡市民、登録団体・個人 ほか	0
⑪災害発生時の救援及び被災地域の復興に資する事業	F.災害復興のための募金活動	6/7 10/18	真岡市内	会員 6名	イベント来場者	0
⑫国際協力、国際交流事業	実施なし					
⑬男女がともに尊重し合う社会づくりに関する事業	実施なし					
⑭地域社会における学びの場づくりに関する事業	(E.H.に内包)	-	-	-	-	-
⑮その他この法人の目的を達成するために必要な事業	(A.に内包)	-	-	-	-	-

次のA.～E.については、3ページ以降で事業内容を詳細に報告するものとする。

- A. 各種イベントにおける広報
- B. 講師派遣事業
- C. 市民活動団体との連携・共催事業
- D. 真岡市市民活動推進センターの管理運営
- E. フードバンクに関する調査・研究
- F. 災害復興のための募金活動
- G. 環境保護への意識づけと貢献活動
- H. 栃木県NPOマネジメント強化事業

A. 各種イベントにおける広報

各種イベントにて、多くの一般の方に当団体を知ってもらえるようブースを出展し、広報活動を行った。

日付	イベント名称	場所	出展内容等
6/5	第5回真岡コラボまつり	真岡市二宮コミュニティセンター	子ども向けゲームコーナー（駄菓子屋）の実施
10/16	第32回ふれあいフェスティバル	真岡市総合福祉保健センター	子ども向けゲームコーナー（駄菓子屋）の実施

B. 講師派遣事業

地域からの要請により、当団体役職員を講師として講座を開催し、市民活動を理解・促進するための一助とすることを目的に実施しているが、今年度は要請がなかった。

C. 市民活動団体との共催事業

市民に必要とされる団体を目指して、真岡市をはじめとする芳賀地域で活動する市民活動団体を実施する多様な事業に関わることで、多くの市民に市民活動の魅力に気づき、参加を促す契機とする。

今年度も、これまで同様、地域の市民活動団体が実施する事業に対して連携を図りながら協力体制を築くことができた。

日付	事業名称	実施場所	主催団体
8/17～ 8/21	第13回はが路100km徒歩の旅（事業協力）	桜町史跡公園（真岡市）～ツインリンクもてぎ（茂木町）	はが路100km徒歩の旅実行委員会

D. 真岡市市民活動推進センターの管理運営

真岡市市民活動推進センターの管理運営も本年度で、指定管理期間2期目における事業年度3年目となった。スタッフの入れ替わりや利用者協議会との役割分担をはじめ、内部での新しい形を模索する年となった。以下に事業の結果を示す。

1. はじめに

今年度は、指定管理期間 2 期目における事業年度の 3 年目に当たる。本年も引き続き、市民が行う自発的で営利を目的としない社会貢献のための活動を支援し、もって市民との協働のまちづくりを推進するセンター設置目的のもと、これまでの成果と課題を踏まえたうえで、協定書、仕様書ならびに事業計画書に基づき「地元寄り添った NPO」を目指し、効率的、効果的な施設の管理・運営に努めた。

センター利用状況においては、前年度と比較し、来館者は約 4.6%減少（H27：10,632 人→H28：10,141 人）した。また、登録者数を見ると、団体は 9 件の増加（H27：7 件増）、個人は 5 件の増加（H27：7 件増）があった。

移転後 6 年目となり、センター利用者については、月別に見れば大きな変動の月があったが、それ以外は例年並みであった。また、登録件数は安定した増加を見せていた。今後は新しい活動を生み出す支援と、既存の活動の維持・発展につながる支援の両面から利用者のみならず一般の方々にもアプローチし、センター利用の推進を図りたい。

ミーティングルームの利用件数は、移転後初めて減少することとなった（H23：267→H24：342→H25：404→H26：470→H27：549→H28：440）。これは、定期的に利用していた団体が減ってしまったことが大きく、特に利用者の高齢化を理由に利用しなくなる事例も少なくなく、ひいてはセンター登録の廃止にまでつながっている。同時に真岡市内での活動の場所を求める声や市内からの交通の利便性に関する意見も多い。反面、現センターでの利用を喜ぶ声もあることから、二宮コミュニティセンターだけでなく、市内での活動拠点の確保が期待される。

後述のアンケート結果も含め、このような意見を真摯に受け止め、地域で活躍する皆様に貢献できる施設を目指し、現状を丁寧に分析しながら日々のセンター運営に反映させ、地域における市民活動の活性化に繋げて行きたい。

2. 市民協働のまちづくりの推進及び施設の運営に関する業務

■センターの利用状況について

() …27 年度の件数

開館日数	297	(297)
来館者数	10,141	(10,632)
ミーティングルーム利用	440	(549)
ロッカー貸出	35	(36)
メールボックス貸出	29	(33)
印刷機利用	337	(333)
コピー機利用	312	(322)
パソコン利用	19	(31)

(1) 利用者の登録及び登録情報管理

■利用登録状況について

() …27年度の件数

	28年度末現在の 登録件数(総数)		うち28年度内 新規登録件数		28年度内 廃止件数	
登録団体	219	(210)	16	(15)	7	(8)
登録個人	102	(97)	8	(10)	3	(3)

- ・登録(変更・廃止)申請があった際には、申請書を運営団体理事長ならびに職員で回覧し、利用の許可等を行っている。また、登録情報の管理については個人情報保護の観点から細心の注意を払っている。
- ・登録団体については、情報公開の確認を行った後に、団体名や連絡先、活動内容、主な活動場所等をホームページ上で公開している。
- ・今年度も昨年に引き続き、団体・個人ともに増加した。
- ・廃止の理由(特に団体)としては、「場所が遠い」「会員の減少」「高齢化」といった理由が目立った。

(2) 市民活動・ボランティアに関する情報収集・提供

■広報誌「コラボ！」による情報提供(発行部数:各号1,000部)

号 発行日	内 容
第30号 (2016.7)	1面 活動報告: 第40回こらぼ茶話「手軽に楽しむ緑茶の魅力」 コラボ共催講座「タイプで知る 子育て術♡」 2面 特集: みんなきらめく! 第5回真岡コラボまつり 3面 同上 4面 登録団体紹介: グリーン ノート ハーモニー 障がい者スポーツ指導者協議会(芳賀支部) 宇都宮友の会 ギャラリー: 竹真会

号 発行日	内 容
第 31 号 (2016. 10)	<p>1 面 特集：みんなで始めるコラボレーション～協働ってなに？～ イベント情報：みんなで始めるコラボレーション！～「環境保全」でつながる仲間と仲間～</p> <p>2 面 活動報告： コラボ共催講座「ラベンダースティックを作ろう」 第 41 回こらぼ茶話「納涼！落語怪談ばなし」 真岡市夏まつり大花火大会クリーンボランティア & 尊徳夏まつり大花火大会クリーンボランティア</p> <p>3 面 登録団体紹介：益子の森アンサンブル 真岡☆花舞嬉 とちぎユースサポーターズネットワーク 新規登録団体：8 月現在</p> <p>4 面 センターより：センター機能がより便利に！ ギャラリー：竹真会</p>
第 32 号 (2017. 1)	<p>1 面 特集：フードバンクでモオカを救う！～コラボ共催講座を通じて～</p> <p>2 面 活動報告： 第 42 回こらぼ茶話「ミツバチのふしぎ」 第 32 回ふれあいフェスティバル こらぼ～年会 みんなで始めるコラボレーション！ ～「環境保全」でつながる仲間と仲間～</p> <p>3 面 登録団体紹介：寺久保切り絵愛好会 二宮郷土史同好会 楊名時太極拳真岡「桜」 新規登録団体：10 月現在</p> <p>4 面 センターより：コラボーレもおか・活用術！その 4 ギャラリー：竹真会</p>

号 発行日	内 容
第 33 号 (2017.4)	<p>1 面 特集：変わる NPO 法</p> <p>2 面 活動報告： 第 43 回こらぼ茶話「アロマキャンドルを作ろう♪」 第 44 回こらぼ茶話「プロが教える塩麴」 NPO マネジメント強化事業オモイをカタチに ～NPO の運営基盤強化のススメ～ 災害ボランティアセンター運営訓練</p> <p>3 面 イベント情報：NPO 法が変わった！ ～平成 28 年度 NPO 法改正に伴う相談会～</p> <p>4 面 登録団体紹介：益子自然育児の会おむすびの里 柳田フラスタジオ NO ジョーカーズ 新規登録団体：1 月現在 センターより：NPO 法改正に伴って 7 万人突破しました！ ミーティングルーム大掃除について ギャラリー：竹真会</p>

・配布先は、登録団体・個人のほか、市役所や公民館などの公共施設、県内外の市民活動支援機関、報道機関等となっている。

・センター内で配架すると同時に、センター事業等で当日資料と共に配布している。

・ウェブサイトやブログでも PDF データとして配布している。

■利用者協議会の意見の収集

○利用者協議会定期総会の実施について(会場:二宮コミュニティセンター 南芝生広場)

日付 時間	内 容
4/9 12:00～15:00	<p>第 1 号議案 平成 27 年度事業報告及び収支報告</p> <p>第 2 号議案 平成 28 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案)</p> <p>第 3 号議案 平成 28 年度役員の新規推薦 (案) について</p>

○利用者協議会役員会の実施について（会場：すべて二宮コミュニティセンター内）

回：日付	内 容
第 1 回：4/28	第 5 回真岡コラボまつり拡大委員会
第 2 回：5/19	第 5 回真岡コラボまつり拡大委員会
第 3 回：5/25	第 5 回真岡コラボまつり全体会
6/5	第 5 回真岡コラボまつり
第 4 回：6/24	第 5 回真岡コラボまつり拡大委員会
第 5 回：6/30	第 5 回真岡コラボまつり反省会
第 6 回：7/28	利用者協議会役員会
第 7 回：8/23	利用者協議会役員会
第 8 回：9/23	利用者協議会役員会
10/16	第 32 回ふれあいフェスティバル 参加
第 9 回：10/26	利用者協議会役員会
11/26	こらぼ～年会
第 10 回：12/5	利用者協議会役員会
第 11 回：1/16	利用者協議会役員会
第 12 回：2/10	第 1 回運営委員会
第 13 回：2/20	第 1 回拡大委員会
第 14 回：3/10	第 2 回運営委員会
第 15 回：3/13	第 2 回拡大委員会

- ・今年度は、センターと利用者協議会の役割分担を明確にしなが、利用者協議会の運営を行ってもらった。利用者協議会主催事業、特に真岡コラボまつりに関してはセンターが主体となって実施する部分が多かったことから、以降の役員会やこらぼ～年会、また次年度真岡コラボまつりの実行委員会に関しては、利用者協議会がより積極的に運営し、センターが裏で支えていく形に変えていった。この形を継続することで、より利用者、ひいては市民が自発的にボランティア・市民活動を進めていけるような環境を形成していきたいと考える。

■利用者アンケートの実施

○配布数：団体 197、個人 97 有効回答数：団体 75、個人 9

今回のアンケートでは、登録団体の代表者 197 名、登録個人 97 名について調査した。いかに結果概要を示す。

【団体】

施設およびサービス、スタッフおよび全体への満足度では、すべてにおいて「満足」「どちらかといえば満足」が 80%を占めた。ただし、施設については「施設が市内から遠い」といった意見が出ていた。

充実してほしい内容としては、「人材育成（33 件）」「活動拠点（32 件）」「作業場所

(32件)」が上位に選ばれた。

また、充実してほしい内容の詳細を聞いたところ、相談では「センターでの相談イベント」、講座・研修では「組織の運営に関する講座」、情報では「センター作成のチラシ等」、場の提供では「二宮コミュニティセンター以外での活動場所」がそれぞれ最も多く挙げられていた。

便利という方がいる反面、遠くなり不便という方も多く、旧真岡市と旧二宮町間の行き来の不便さがアンケート内にも表れているようだった。

【個人】

施設およびサービス、スタッフおよび全体への満足度では、すべてにおいて「満足」「どちらかといえば満足」が70%を占めていた。

充実してほしい内容としては、「人材育成(4件)」「活動拠点(4件)」が最も多く選ばれていた。

また、充実してほしい内容の詳細を聞いたところ、相談では「二宮コミュニティセンター以外での相談イベント」「コラボレもおかでの相談イベント」、講座・研修では「体験を中心とした講座」、情報では「センター作成のチラシ等」「市からの各種広報」、場の提供では「二宮コミュニティセンター以外での活動場所」がそれぞれ最も多く挙がっていた。

人材育成や活動拠点について要望があり、登録団体とも通じる結果となった。ただし、個人の回収率は低かったため、参考として考えている。

今後は、頂いた意見をもとにより良いセンター運営を目指し改善していくとともに、より多くの団体・個人からの意見を集めるため回収率の向上に努めていく。

■関係機関との交流による情報の収集

○職員の研修会等への派遣について

日付	研修名	用務先
4/21	平成28年度第1回真岡市災害ボランティア支援委員会	総合福祉保健センター・ボランティア室
6/24	CoCoサロンとちぎ〜「ボランティアコーディネーションのツボがわかる!」読書会	宇都宮大学
7/7~8	NPO支援センター初任者研修会	横浜テクノタワーホテル
7/21	支援力アップ塾〜実務ステップアップ編〜「相談を受ける力」	東京ボランティア・市民活動センター
7/23	コミュニティビジネス起業講座 第2回	結城市民活動支援センター
7/30	コミュニティビジネス起業講座 第3回	結城市民活動支援センター

日付	研修名	用務先
8/2	中間支援センター現地視察	「前橋市市民活動支援センターMサポ」、 「NPO ボランティアサロンぐんま」
9/9・12	ボランティアコーディネーション力1級検定研修	大阪研修センター江坂
9/10	自分に安心し、元気になれる「マインドフルネス」講座	協働ステーション中央
9/17	栃木県 NPO マネジメント強化事業オモイをカタチに 第1回「記す」	二宮コミュニティセンター206・207 会議室
9/21	メンタルヘルス講座統合失調症の理解	真岡市公民館 2階第3・4 会議室
9/23	自分の思考を整理する-問題解決型「ロジカルシンキング」	協働ステーション中央
9/25	ボランティアコーディネーション力1級検定	飯田橋セントラルプラザ 12階会議室
9/27	改正特定非営利活動促進法説明会への出席	栃木県庁研修館
10/12	認知症サポーター養成講座	二宮コミュニティセンター202 会議室
10/29～30	ボランティアコーディネーション力2級検定	内海ビル
11/5～6	ボランティア全国フォーラム 2016	国立オリンピック記念青少年総合センター
11/16	認知症サポーター養成講座	二宮コミュニティセンター202 会議室
11/23	市民セクター全国会議 2016	聖心女子大学
11/25	災害ボランティアネットワーク	とちぎ健康の森
11/30	とちぎ協働推進大会 2016	栃木県総合文化センター
12/6	ボランティアコーディネーター実務者研修	東京・北とぴあ
12/14	認知症サポーター養成講座	二宮コミュニティセンター202 会議室
12/15	第3回とちぎ協働推進研究会	とちぎボランティア NPO センター「ぽ・ぽ・ら」

日付	研修名	用務先
12/17	こどもの貧困対策全国キャラバン in 栃木	とちぎ青少年センター
1/11	認知症サポーター養成講座	二宮コミュニティセンター202 会議室
1/27	真岡青年会議所主催 新春異業種交流会	エフダイニングユース
2/21	福祉教育推進リーダー養成研修会	パーティとちぎ男女共同参画センター
2/25	災害ボランティアセンター運営訓練	真岡市総合福祉保健センター
3/8	平成 28 年度小地域福祉活動推進セミナー	栃木県総合教育センター
3/18	(公社) 栃木県経済同友会第 10 回社会貢献活動支援助成活動報告会	宇都宮大学
3/23	ファンドレイジング研究会	とちぎボランティアネットワーク事務所

- ・今年度も、市内外の研修に積極的に職員を派遣し、そのスキルの向上を図った。スキルや知識、人脈を増やし、関係機関との情報交換や交流を行い、センター運営に寄与している。特に、センター運営上主要な技術であるボランティアへのコーディネートスキルについては、特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会が実施する「ボランティアコーディネーション力検定」を受験し、結果、1 級 1 名、2 級 1 名が資格を取得し、業務内外でスキルを向上させながらセンター運営に取り組んでいる。

○各機関との事業に係る打合せの実施

日付	打合せ内容	用務先
4/27	平成 28 年度市町 NPO・協働担当者等会議	栃木県庁本館 9 階会議室
9/9	平成 28 年度第 2 回とちぎ協働推進研究会	とちぎボランティア NPO センター「ぽ・ぽ・ら」
10/28	平成 28 年度中間支援センター連携推進会議「スタッフ研修会」	とちぎボランティア NPO センター「ぽ・ぽ・ら」3 階研修室
12/8	花王ハートポケット倶楽部助成金 審査会	とちぎボランティア NPO センター「ぽ・ぽ・ら」

日付	打合せ内容	用務先
2/16	花王ハートポケット倶楽部助成金贈呈式	花王株式会社栃木事業所

- ・県内の中間支援センターの集まる会議へ積極的に参加した。また、花王ハートポケット倶楽部助成金の一次審査員の依頼を受けるなど、県内センターの一員として役割を果たすことができたのではないかと考えている。

○登録団体・個人への取材の実施（ブログ等に掲載）

日付	取材内容	用務先
8/21	「第13回はが路100km徒歩の旅」（取材）	ツインリンクもてぎ
9/11	「第13回はが路100km徒歩の旅」	真岡市青年女性会館2階ホール
9/24	もおか観光コンシェルジュガイドツアー	桜町陣屋二宮尊徳資料館
10/16	第32回ふれあいフェスティバル（取材）	総合福祉保健センター
3/25	DSみゆき8周年記念	真岡スポーツ交流館

- ・登録団体の活動を把握し、広報への一助とするため、取材を実施した。取材した内容については、ブログ等へ掲載し、広く団体活動の様子を知ってもらうとともに、広報手法の一例として参考にしている。

(3) 各種相談業務

相談件数	66	(52)
------	----	------

- ・本年度は、窓口業務の管理を明確にし、相談、苦情、その他と分け、一つ一つの相談に対しより丁寧に対応した。内容としては例年通り、ボランティアの紹介が多かった(33%)が、事業・イベントに関する相談(19%)、助成金・資金に関する相談(9%)も多く見られた。また、そのほかにも市民活動一般から組織運営、NPO法人運営、広報・パソコン、センターに関して、活動場所など幅広く相談を受けることができた。

- ・NPO法人設立に関する相談は1件であった。

- ・相談内容については記録にまとめ、職員の対応能力向上に努めている。記録は内部で回覧、共有し、個人情報については保管の際に細心の注意を払っている。

(4) 各種講座・研修会の実施

■NPO・市民活動・ボランティア等に有用な研修会・講習会の実施について

○ボランティア活動実践プログラム「花火大会クリーンボランティア」

第 47 回真岡市夏祭り大花火大会

日 時 7月24日(日) 5:30~7:30

参加者 97名

共 催 真岡市市民活動推進センター、真岡市ボランティア連絡協議会

尊徳夏まつり花火大会 2016

日 時 8月28日(日) 5:30~7:30

参加者 約 50名

共 催 真岡市市民活動推進センター、真岡市ボランティア連絡協議会

○市民活動団体交流会「こらぼ de ランチ」

- ・センター登録団体・個人がより意見を言いやすい場づくりのため、コラボレーもおか 交流コーナーにて実施
- ・センターとして潜在的なニーズの発掘の場
- ・今年度は昼の部のみとし、各回 12:00~13:30 の実施とした。

回数	日時	参加人数	備考
1	8/26(金)	5	
2	9/15(木)	4	
3	10/21(金)	6	
4	11/9(水)	2	
5	12/20(火)	4	
6	1/11(水)	0	
7	2/23(木)	4	
8	3/14(火)	4	

■「こらぼ茶話」の実施について

第 41 回こらぼ茶話「納涼！落語怪談ばなし」

日 時 8月18日(木) 19:00~20:30

会 場 二宮コミュニティセンター 205 和室

内 容 暑さを吹き飛ばすような怪談話を落語で楽しもう。

講 師 冗談法人 真岡落語研究会

参加者 18名

参加費 100円

第 42 回こらぼ茶話「ミツバチのふしぎ」

日 時 10月1日(土) 14:00~15:30

会 場 二宮コミュニティセンター 202 会議室

内 容 紀元前よりさまざまに利用してきたミツバチ、イチゴ生産量日本一の影武者を知ろう

講 師 遠藤養蜂研究所所長
参加者 16名
参加費 200円

第43回こらぼ茶話「アロマキャンドルを作ろう♪」

日 時 12月7日(水) 10:00~12:00
会 場 二宮コミュニティセンター 研修室
内 容 世界に一つだけのアロマキャンドルを作ってみませんか
講 師 スマ・切り絵クラブ 藤田 ヒサ子
参加者 18名

第44回こらぼ茶話「プロが教える塩麴」

日 時 2月16日(木) 10:00~12:00
会 場 二宮コミュニティセンター 研修室
内 容 塩麴を知って健康について考えると共に、実際に皆さんで作ってみましょ
う！
講 師 渡辺麴店 渡邊 千春
参加者 25名

第45回こらぼ茶話「足つぼマッサージで元気にアクション！」

日 時 3月9日(木) 13:30~15:30
会 場 二宮コミュニティセンター 研修室
内 容 足つぼマッサージを学びながら体験して、日々の活動の活力にしよう！
講 師 久松 信介(リフレクソロジスト)
参加者 8名

■登録団体との共催講座(コラボ共催講座)の実施について

「リコーダー体験教室」

日 時 4月26日(火) 13:30~15:00
会 場 真岡市二宮コミュニティセンター 301会議室
内 容 家に眠っているリコーダーを活用し、やさしい曲を吹いてみませんか
共 催 アンサンブル花
参加者 0名

「ラベンダースティックを作ろう」

日 時 7月14日(木) 10:00~12:00
会 場 真岡市二宮コミュニティセンター ミーティングルーム
内 容 ラベンダーの知識を学び、ラベンダースティックを作る
共 催 栃木県生涯学習インストラクターの会
参加者 10名
参加費 200円

「フードバンクがモオカを救う！～貧困を打ち破る手段を学ぶ～」

日 時 11月29日(火) 19:00~20:30
会 場 真岡市二宮コミュニティセンター 203会議室

内 容	フードバンクについて、事例紹介
共 催	NPO 法人ま・わ・た
参加者	12名

■協働理解促進講座

「みんなで始めるコラボレーション！～「環境保全」でつながる仲間と仲間～」

日 時	11月27日（日） 13:30～15:30
会 場	真岡市公民館真岡西分館大会議室
内 容	「協働」についての講話と、「環境保全」をテーマに様々な主体と協力しながら活動されている皆さんのお話を聞いた。
参加者	10名

- ・上記事業の開催に当たっては、毎回チラシを作成して一般、登録団体・個人、関係者機関へ配布している他、HP やブログ、市秘書課で発行している Weekly News もおか等に情報を掲載し、参加者募集をしている。また、活動報告として、ブログや広報誌に記事を掲載し、活動の様子を広く公開している。
- ・今年度は新たな層を巻き込むためのきっかけ講座である「こらぼ茶話」、団体の活動を進めていく上で課題になっていることを共に考え解決しながら、企画を実現する「コラボ共催講座」を実施した。
- ・「協働理解促進講座」では、「協働」についての理解を深めるための講座と、「環境」をテーマに芳賀地域で多様な主体と協働で事業展開されている団体の活動報告を実施した。若干参加人数は少なかったものの、身近な場所で活躍されている方々の話は非常に参考になった。「協働」について考えるいい機会となり、今後も同様の講座を望む声を多くいただけた。
- ・前年度に引き続き「こらぼ de ランチ」を定期的で開催し、センターを利用する登録団体・個人がより意見を言いやすい場づくりに努めた。センターとして潜在的なニーズの発掘の場として少しずつではあるが、活用できたのではないかと考える。
- ・各種講座・研修会の参加者の中には、センターに初めて足を運んだという方もおり、センター自体の PR にも寄与しているといえる。また、講座をきっかけに参加者間でつながりを持ったり、センターへ登録されたりと副次的に効果も見られた。
- ・今後も利用者のニーズを把握し、活動をより活性化するための講座等を開いていきたい。

(5) 交流促進のための事業実施

■利用者協議会交流事業「こらぼ～年会 2016」

日 時	11月26日(土) 9:30～15:30
会 場	真岡市中村農村環境改善センター
内 容	そば・サラダ・おいなりさんなどをみんなで楽しく作りましょう!
参加費	500円
参加者	39名(指導役含む)

- ・利用者間の交流促進のため、利用者協議会主催で「こらぼ～年会」が実施された。昨年同様、みんなでそばを打ったり、料理を作り、交流を深めながら楽しむことができた。食事の後には利用者の皆さんが持ち寄った手作り作品などを景品にビンゴ大会も開催し、好評を得ることができた。

(6) 登録団体・個人の活動紹介

■「第5回真岡コラボまつり」

日 時	6月5日(日) 9:00～14:00
会 場	真岡市二宮コミュニティセンター全館
内 容	活動・体験コーナー(3F ギャラリー、2F 会議室、屋外 他) 模擬店・バザー(調理室前特設ブース) ライブステージ(研修室、多目的ホール)
主 催	センター利用者協議会
企画運営	第5回真岡コラボまつり実行委員会
来場者	2,058名

- ・本年も上記イベントを開催することができた。登録団体・個人が実行委員として任意の形態で企画運営に参画し、イベントを大いに盛り上げた。また、当日の来場者は2,058名にのぼり、昨年同様に市内における市民活動のすそ野の広がりにも寄与できたものと思われる。しかし、利用者協議会主催の事業でありながら、センターの多くの役割を担ってしまい、利用者主体の事業展開を弱めてしまった感がある。今後は、利用者が自分たちの意見をもって、自ら動いて事業が展開して行ける様、陰から支えていくような関わり方を模索し、利用者協議会と話し合っていく必要があると考える。

■「こらぼひろば展」の開催

期 間		内 容
4/12 ～ 5/1	生きがいディサービス(社協)	集えばたのし
5/6 ～ 5/29	水彩画教室 レモンの会	薫風にのせて
5/31 ～ 6/19	寺久保 切り絵愛好会	広重 東海道を行く
6/21 ～ 7/10	藤倉 千江 さん	和紙に魅せられて
7/12 ～ 7/31	スマ・切り絵クラブ	十二支の仲間たち
8/3 ～ 8/17	生きがいディサービス(社協)	楽しみは生きがい

期 間		内 容
8/23 ~ 9/11	キャンドルの会	本とあそびの会
9/13 ~ 10/2	写真友の会	日本の四季
10/4 ~ 10/23	木彫同好会	刻字と能面
10/25 ~ 11/13	平山 政江 さん	趣味を楽しむくらし
11/15 ~ 12/4	書道愛好会	楽しく書こう
12/6 ~ 12/25	ボランティア仲間の会	吊り飾り 二人展
1/4 ~ 1/22	花音クラブ	押し花・ポーセラーツ展
1/24 ~ 2/12	日本画愛好会	感謝をこめて
2/14 ~ 3/5	藤倉 千江 さん	和紙に魅せられて 冬編
3/7 ~ 3/26	いちご会	イッカンバリ 一閑張
3/28 ~ 4/16	写真友の会	心に残したい情景

- ・広報については、Weekly News もおか内「みんなのひろば」において展示内容を掲載しているほか、当センターブログ等でも報告している。
- ・作品の展示を行い、広く活動を知ってもらうことも市民活動の一環である。より多くの利用者が作品展示・紹介に利用できるよう案内などのチラシを配布し、利用方法等の周知を行っている。しかしながら、積極的な利用は多くないため、今後、さらに利用促進の提案をしつつ、閲覧者の増加にも努めていきたい。

3. 上記に付帯する業務

■「苗木 for いわき」募金の実績（とちぎ環境未来基地へ拠出）

金額	1,157 円
----	---------

(1) 関係機関との連絡調整

- ・センターを所管している市安全安心課ならびに二宮コミュニティセンターの管理を担当している市公民館二宮分館とは日常的に連絡調整しながら、必要とされる事項についてその都度協議を行った。
- ・県内外の市民活動支援機関や活動団体とは、各種会議・研修会を通じて情報・意見交換をするよう心掛け、同時に交流も深めている。
- ・福祉の面が強い講座や相談などについて協力体制をとれるよう、社会福祉協議会や県東健康福祉センターなどといった関連機関との連携を図ることを心掛けた。

(2) 施設の利用促進方策の立案及び実施

- ・県外の市民活動支援機関が発行する定期刊行物を購読し、常にタイムリーな話題を提供

できるよう心がけている。

- ・行政情報番組内「もおかインフォ」において当センター事業のお知らせ・報告等を継続して行っている。

(3) 防犯・防災・緊急時等の対策

- ・本年度も安全安心課ならびに公民館二宮分館と、緊急時の連携体制を整えることを心掛けた。
- ・真岡市災害ボランティア支援委員会設置要綱に基づき、災害ボランティアセンター設置運営に係る会議の場へ出席し、災害時の対策について他施設との共有を図った。

(4) その他施設の管理に関し、市より指示される業務

- ・臨時休館の措置を取った（5/15 いちごまつり開催のため）。

E. フードバンクに関する調査・研究

真岡市市民活動推進センターとの共催事業という形で、実践団体によるフードバンクについての講座を実施した。

日時	11月29日（火）	19:00～20:30
会場	真岡市二宮コミュニティセンター 203 会議室	
内容	とちぎボランティアネットワークの紹介、フードバンクについて、事例紹介、運営して感じたこと、今後のフードバンクについて、質疑応答	
参加者	12名	

F. 災害復興支援のための募金活動

今年度も、各種イベント等において募金活動を実施し、来場者に呼びかけを行った。

日付	イベント名称	拠出先	拠出金額
6/5	第5回真岡コラボまつり およびセンター窓口	認定特定非営利活動法人 とちぎボランティアネットワーク (熊本地震への活動支援)	27,314 円
10/18	第32回ふれあいフェスティバル	認定特定非営利活動法人 とちぎボランティアネットワーク (岩手水害への活動支援)	10,389 円
6/5～ 10/31	センター窓口	認定特定非営利活動法人 とちぎボランティアネットワーク (熊本地震への活動支援)	2,500 円

G. 環境保護への意識づけと貢献活動

今年度も、企業や多くの市民とともに清掃活動への協力を行った。

日付	イベント名称	実施場所
7/26	真岡市夏祭り大花火大会クリーンボランティア（事業協力）	真岡市夏祭り大花火大会会場周辺
8/30	尊徳夏まつり花火大会クリーンボランティア（事業協力）	尊徳夏まつり花火大会会場周辺

H. 栃木県 NPO マネジメント強化事業の受託

NPO・ボランティア団体などの社会貢献活動団体のマネジメント能力の向上を目的に、講座・セミナーを開催した。

内容としては、組織運営を継続的に行っていく上で、NPO 組織としても避けては通れない資金に関する講座を行い、マネジメント力の強化を図った。講座は 3 回実施し、それぞれで組織の中での資金を活用するために重要な要素を講師による座学とワークショップ形式の実習によって学んでいった。

第 1 回 記す 「NPO が学ぶ会計術」	
日 時	平成 28 年 9 月 17 日（土） 10:00～12:00
会 場	真岡市二宮コミュニティセンター 206・207 会議室（真岡市石島 893-15）
講 師	柴 伸彦氏（税理士法人 柴会計事務所 所長）
内 容	会計の基礎とやり方についてわかりやすく講義をいただき、複式簿記についての簡単な実習を行った。
参加者	12 名
第 2 回 計る 「夢で終わらせない活動計画作り」	
日 時	平成 28 年 11 月 3 日（木・祝） 13:30～16:30
会 場	真岡市二宮コミュニティセンター 206・207 会議室（真岡市石島 893-15）
講 師	岩井 俊宗氏（NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワーク 代表理事）
内 容	市民活動の計画を立てるうえで必要なことを学び、実際に自身の関わる団体の活動計画を立てた。
参加者	17 名
第 3 回 募る 「ファンドレイジング～資金と志金～」	
日 時	平成 29 年 1 月 21 日（土） 13:30～16:30
会 場	真岡市二宮コミュニティセンター 206・207 会議室（真岡市石島 893-15）
講 師	池田 秀昭氏（栃木県共同募金会/認定ファンドレイザー）
内 容	ファンドレイジングについての講義のあと、ステークホルダー分析などを行い、いかにして周りから共感を伴った支援をもらうかを考えた。
参加者	12 名